

原子力安全推進協会による東通原子力発電所ピアレビューの概要

1. 日 程 平成25年5月15日（水）～29日（水）
2. 対 象 東通原子力発電所（定期検査中）
3. 目 的 東通原子力発電所の運営状況等を世界の最高水準と比較し、「要改善事項」等を抽出することにより、同発電所の自主的な保全活動の向上を支援し、安全性や信頼性をより向上させることを目的に実施。
4. 実施者 国内外の原子力専門家30名（日本、米国、仏国）
5. 主なピアレビュー結果
 - 【要改善事項】
 - ・発電所の運営に関わる活動について、法令などの遵守だけでなく、自らより高い管理目標を導入するという観点から改善できる余地がある
 - ・発電所停止時の安全管理について、より高いレベルを目指すという観点から改善できる余地がある
 - ・教育訓練について、若年層の早期戦力化の観点からより体系的なものへ改善できる余地がある
 - ・資機材等の保管について、火災防護の観点から改善できる余地がある
 - ・発電所運転員が定期試験時に使用する手順書について、誤操作を防止する観点から記載を改善できる余地がある など
 - 【良好事例】
 - ・緊急時における外部電源の復旧時間短縮に取り組んでいる
 - ・水質管理による被ばく線量の低減に取り組んでおり、被ばく線量を最小限に抑制している など

6. 実施状況



緊急時対応に関するインタビュー



原子炉建屋の現場観察



原子炉建屋の現場観察



ピアレビュー開催初日の会議